

一般質問



伊藤 宗次 議員

問 見えにくい子どもも貧困に支援を

答 手を差しのべるのが効果的

問 予算編成方針は、子育て支援だが、小中高生の修学旅行費保護者負担の軽減を。

答 **教育部長** 報奨費で、小学生1000円、中学生1500円を交付。

問 対象者数、保護者負担の内訳は。

答 小学校6校436人、平均2万4898円。中学校3校406人、平均4万9407円である。

問 子どもの貧困が見えにくい。給食費無料を。

答 **教育部長** 本当に困っている家庭に手を差しのべるのが一番効果的である。

問 給食費無料化すると「食べ残しがペラボーに増える」と町長。

答 岐阜県岐南町を視察。無料化で食べ残しに変化はないと。無料化実施を。

答 **教育部長** 近隣の状況を見ながら対応を、考えていきたい。

問 子どもの貧困化が見えにくい。子育て支援を。

答 **町長** 全体的な流れの中で、新しい気持ちで対応していく。

問 無い限りは、財源がないのではなく、知恵がない。やる気がないから。中身の無い方針だ。

答 信念をもって施策をすすめたい。



楽しい給食（中央小学校）

問 方針から何も見えない文章だ

答 信念をもった施策をやっていく

問 福祉や医療などの扶助費は経常経費を縮減、廃止だがその内容は。

答 社会的に必要性が低下した事業は廃止、縮小、成果が見られない事業は見直す。

問 法人住民税に適正課税実施で生まれる財源は。

答 5200万円である。

問 大企業への適正課税実施は、西三河の連れ小使か。

答 企業城下町という地域の特性もかなりある。

問 なぜ実施しない。

答 本町だけ実施すれば、マイナスになる部分があると、考えている。

問 予算編成方針の文章はあっても、意味不明で、見えてこない。

答 **町長** 信念をもった施策をやっていく。

問 人口の伸びが町民所得の減少を見えづらくしている。

答 日本は人口減少期に入っている。人口推計は、総合計画の推計でいいのか。

問 22億円から25億円で、安定している。

答 **総務部長** 5年間で22億円から25億円、安定している。

問 予算編成方針は、法人住民税の変動を嘆くが、町民所得の変動は。

答 **総務部長** 5年間で22億円から25億円、安定している。

で見直す必要になってくる。

公共施設等整備の負担基準見直し

総務教育
常任委員会

11月8日 協議会開催

公共施設の4割が築後30年経過し、今後維持費増加が見込まれ、負担基準を見直し長寿命化をはかる。算定方式は、延床面積から世帯数段階別に、主要公共施設修繕の町負担率を10%引上げ90%とし、補助対象の地区集会施設は補助率を引下げるが利用頻度により20%上乘せする。

Q 指定避難所維持に地元負担求める理由は。

A 避難所は一時的利用で普段は地元の活動拠点。補助率は従来とおりか。

A 施設の利用頻度により今までどおりになる。

町民会館修繕追加工事

発注済の舞台音響・照明改修に加え、利用者要望の多い和式トイレの一部を洋式化・破損シート貼り替えなどを新たに計画。

Q 和式トイレの数は。

A さくらホール男女45基のうち和式26基が12基に。つばきホール男女13基のうち和式10基が3基に。

Q 監視カメラの個人情報保護に第三者委員会を。

A 今後検討。



負担が軽減される公共施設

11月17日 管内視察

小中学校の

天井耐震など視察

南海トラフ地震など大地震の発生が想定される中、天井材落下などから児童生徒を守り、災害時には地域住民の避難所にもなるため、その安全性確保が極めて重要となる。

屋内運動場の天井耐震工事は、平成27年度に狹谷小学校を手掛け、平成29年度で全て完了となる。

◇北部中学校

天井材の石綿吸音板を撤去し、照明器具をLED化。

◇坂崎小学校

天井材の化粧石膏ボードを撤去し、照明器具をLED化。

あわせ、児童増加対策として、平成30年2月28日を完了工期とする軽重鉄骨造平家建の校舎増築で、少人数教室と児童クラブ室が設



完了した天井耐震化（幸田小学校）

けられる。

◇幸田小学校

天井材の化粧石膏ボードを撤去し、照明器具をLED化。

児童数約1100人予測から鉄筋コンクリート3階建の校舎が増築された。